

特定非営利活動法人 Global Bridge Network

平成 28 年度 事業報告書

1. 活動期間:2016 年 6 月 23 日～2017 年 3 月 31 日

※活動初年度のため、活動開始日は変則的。翌年度以降は 4 月 1 日～3 月 31 日となる。

2. 事業の成果:

2016 年 6 月 23 日に横浜市で特定非営利活動法人の登記を行い、活動をスタートした。今年度は、団体として活動をスタートさせるために、HP 作成(<http://globalbridgenetwork.org/>)や FB・Twitter などの SNS の準備、ネットワーキング、ウガンダ共和国へ渡航し現地視察および現地 NGO((団体名:SORAK)と連携事業を開始するための打ち合わせ、プロジェクト立案・形成などを行った。

ウガンダの現地 NGO・SORAK はウガンダのムベンデ県にて、学校経営、農業開発を通じた収入向上、安全な水の配給、HIV/AIDS 女性グループ支援など、地域に根差した幅広い活動を行っている。このように地域のニーズを真に把握しているため、SORAK と連携することで効果的な支援ができると考えている。

次年度からは株式会社 LUSH ジャパン、地球環境基金様からの助成金により事業を本格的に開始することになった。経済的にも事業運営を継続していく土台を整えることが出来たと考えている。

次年度からは本格的に活動が進んでいくため、現地との連携、作業の効率化、人員体制の強化等を行っていききたい。



現地 NGO の SORAK が支援している HIV/AIDS 女性グループに現状の聞き取りをしている際に撮影した写真



代表の大西が 2016 年 8 月にウガンダへ渡航時、現地 NGO の SORAK と打ち合わせした際の写真

3. 実施した事業の内容

事業内容は「国際支援事業」、「国際交流促進事業」の2つであり、以下にその活動内容を述べる。

① 国際支援事業

1) 女の子の教育環境改善

来年度より以下の活動を実施するための準備・申請を行った。

開発途上国では、女子生徒が生理期間中に通学出来なくなるという問題が発生している。貧困のため生理用品を購入できず、古着等の代替品を使用し、衣服に漏れて男子生徒からからかわれてしまう、代替品が不衛生であるため病気に感染するなど、通学出来ずに勉強についていけなくなり、さらに退学してしまう等の課題がある。

そこで、ウガンダの現地 NGO・SORAK と連携し、この問題を解決するためのプロジェクトを立案し、助成金の申請等を行った。プロジェクトは「ウガンダ共和国で生理で学校に行けなくなる女子学生の教育環境改善事業」(2017年4月～数か月)とし、ウガンダのムベンデ県で約1000名を対象に行う予定である。ベースライン調査の実施、布ナプキン作成ワークショップ、衛生・性教育、ジェンダー(男女平等)啓発¹、布ナプキン作成クラブの形成等を行い、女子生徒が継続して通学可能となるようサポートする。プロジェクトの対象者は女性生徒だけでなく、男子生徒、学校教員、保護者など、地域全体を巻き込み、女子学生をサポートできるような体制を整える。

株式会社 LUSH ジャパン様からの助成金が降りることになり、次年度から本格的に本事業を開始できることになった。



ウガンダ共和国ムベンデ県にある、ルワウナ小学校で女子生徒が生理に関する話に参加している写真



手を挙げて自分の経験を話す女子生徒

¹ 男子生徒にも生理などについて正しい知識を身に付け、生理に対する理解を深め、女子生徒をからかうことを防ぐことが目的。

2) 環境保全と地域活性化

来年度より以下の活動を実施するための準備・申請を行った。

ウガンダのムベンデ県では過去 2 年間で連続的な干ばつが起きており、森林伐採、耕作農業のための湿地帯への侵入など、人々の手による環境破壊が深刻な問題となっている。人口の多くを占める女性や青少年は、収入源が限られ生活に困窮しており、気候変動による影響やその原因を理解しておらず、高い失業率や生計を立てられない人々が耕作地を求めた結果、こうした環境破壊へと繋がっている。

そこで現地 NGO・SORAK は、ウガンダ・ムベンデ県およびチエゲグワ県にある地域の学校での環境教育、女性や青少年を対象に環境保全・レモングラス栽培トレーニング、地方政府に対し環境保全に関する政策や意思決定への働きかけ、またレモングラス栽培の拡大による環境保護を実践する事業を立案した。女性・青少年 200 名、児童 500 名 × 16 校、地域関係者 50 名、周辺地域の農家など受益者は約 8,000 名以上に上る計画である。

干ばつで痩せた土地に大量のレモングラスを栽培することは、土壌の浸食を防ぎ、環境に良いとされている。さらに、本事業は SORAK がすでに実施している、レモングラスを近隣農家から買い上げ、レモングラスのエッセンシャルオイルや紅茶の商品開発及び販売による農家の収入向上支援も促進できる。

Global Bridge Network (GBN) はレモングラス栽培による環境保全および収入向上として SORAK が立案・実施する「レモングラスの栽培拡大と環境教育による環境保全事業」(2017 年 4 月～1 年間)を代理団体としてサポートする。本事業は、地球環境基金様からの助成金で次年度から本格的に開始される。



ウガンダ共和国ムベンデ県の痩せた土地



レモングラスを栽培する農家



SORAK が所有するエッセンシャルオイルの蒸留機。農家からレモングラスを収集し、ここでレモングラスのオイルを生成している。



SORAK が生成したレモングラスのエッセンシャルオイル

3) GBN ショップ運営による国際支援

ウガンダの現地 NGO・Bereesera(シングルマザーなど経済的・社会的に厳しい環境にいる女性たちをトレーニングし、アフリカの布とレザーを組み合わせたアイテムを生産・販売し収入支援を行っている)によるオリジナルのクラフト、アフリカの人々が手作りした雑貨・アクセサリー等をインターネット上で販売している。



[クリックしてください↑](#)

Bereesera から届いた、アフリカのシングルマザーの手作り、アフリカ布とレザーの組み合わせたクラフトの商品。(ネット販売中)



商品を作成するシングルマザー。彼女たちがひと針ひと針、心を込めています。



[クリックしてください↑](#)

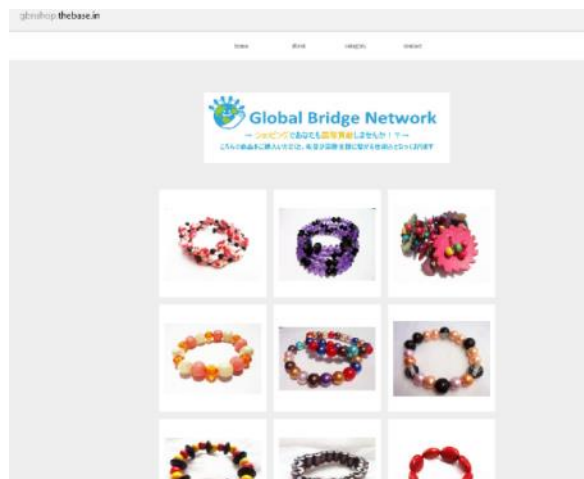
Daisy がデザインしたオリジナルアクセサリー(ネット販売中)



アクセサリー作成中の Daisy

この収益は、各種国際支援等のプロジェクト運営に係る経費に充当される。本事業は現地の商品を購入することで彼らの収入向上となり、またそれらを販売することで、一般に向けて途上国が抱える課題を発信し、また国際協力に多くの人々が参加する機会を創出できる。

今年度はBASE というサイトを通したショップページの設立、Facebook やブログを通じた商品紹介を行った。



また、木楽舎「ソトコト」にもアフリカ人女性の Daisy の手作りアクセサリーの紹介が掲載され、幅広く広報することが出来た。



らお届け!
商品カタログ!

UGANDA
TANZANIA
text by SOTOKOTO

NGOを運営するデージーさんの
オリジナルアクセサリー。

「ウガンダのデージーさんが作ったアクセサリー」は「どんな人が作っているか、顔の見える商品だ。同国の南東部・バリサでNGOを運営しているデージーさんは、おしゃれが大好き。一方で、女の子の小・中学校の中退率が高いことにも「何とかしたい」と取り組んでいる。実はその背景には、生理用品を買えない子が学校を休んでしまい、授業についていけなくなったり、嫌な思いをしてしまうという実情がある。NPO「Global Bridge Network」の大西麻衣子さんは、これまで布ナプキンを提供する活動と一緒にやってきたが、「いつかは布ナプキンを村の女性たちでも作れるようにしたい」と語る。アクセサリーはどれも1品限りのデザイン。売り上げはミシンの購入に充てられる。

左/ビーズやパーツの買い付けから製作までを行う。右/デージーさんが運営しているNGOは「Visionary Lady Foundation」。

Global Bridge Network <http://globalbridgenetwork.org/shop>

今後も一般の人々がショッピングを楽しむことで国際支援に繋がるような仕組みを整えていきたいと考えている。

② 国際交流促進事業

1)「アフリカナイト」の開催

交流のある横浜市の NPO・Connection of the Children(CoC)と協働して、「アフリカナイト」というイベントを開催した。会場は古民家をリノベーションして地域のコミュニティスペースにした CASACO にて、日本に住むアフリカ諸国の出身者および、アフリカに関心のある日本人が集い、お互いに交流、クイズやダンス、音楽、ウガンダ料理を通してアフリカの文化を紹介した。当日は、約 30 名の人々にお越し頂くことが出来た。

(日時:2016年12月18日15:00~19:30、場所:横浜、参加人数:約30名)



アフリカナイト当日の様子。ウガンダ人女性が、日本語で自国の文化紹介を行った。

2)「八景のいろいろな一日」への出展

横浜市の金沢八景で開催された、様々なジャンルで活躍する方々を紹介するイベント「八景のいろいろな一日」に出展した。当日はアフリカの布で浴衣の展示、アート、胡粉ネイルの体験、沖縄音楽、アフリカの太鼓などの演奏があり、GBN は団体や活動紹介、アフリカの雑貨販売を行うことで、団体について知って頂き、様々な人々と交流する機会となった。

(日時:2017年3月19日 12:00~17:00、場所:横浜、参加人数:約60名)



当日のプログラム



会場の様子



GBN のブース



GBN の商品について説明

貸借対照表

2017年3月31 現在

(単位:円)

科 目	金 額		
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	1,289,433		
仮払金	132,481		
流動資産合計		1,421,914	
2. 固定資産			
(1)有形固定資産			
(2)無形固定資産			
(3)投資その他の資産			
固定資産合計		0	
3. 繰延資産			
繰延資産合計		0	
資産合計			1,421,914
II 負債の部			
1. 流動負債			
役員借入金	550,890		
流動負債合計		550,890	
2. 固定負債			
長期借入金	848,140		
固定負債合計		848,140	
負債合計			1,399,030
III 正味財産の部			
前期繰越正味財産		0	
当期正味財産増減額		22,884	
正味財産合計			22,884
負債及び正味財産合計			1,421,914